

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月7日

### 2005年6月5日現在

6月5日に終わる1週間の気象は、平年より低目の気温と降雨の気象であった。最高気温はNC地区では68~72度F、NE地区では多少高く70~76度であった。州中央から南部に掛けても68~76度Fであった。1週間の降水量はNC地区では0.98~2.26インチを記録し、NE地区では0.40~1.96インチであった。Cent.地区では0.70~3.48インチであったが、多くの観測所で1インチ以上を記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は3.6日(前週:6.0日)であった。

土壌水分は改善され、Topsoil、Subsoil共に過去5年の状態より良い結果状況となった。今後の生殖成長にとり極めて良い土壌水分状態となった。

冬小麦は全体の64%が穂孕み期にあり、3%が出穂した。出穂は低温・降雨の為昨年並びに平年(17%)より大分遅れている。

春小麦の播種は全州にて完了し、98%にて出芽し10%が穂孕み期に入った。

冬小麦の作柄評価は多少前週より落ちた。春小麦の作柄は多少良くなった。両小麦共平年以上の作況評価であった。

5月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想では、単位収量は41.0bushels/acrで昨年実績と同数であった。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：2005年6月5日現在

#### Topsoil

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr. Ave.
Very short (%)	2	8	15	18
Short (%)	15	33	28	28
Adequate (%)	74	57	54	50
Surplus (%)	9	2	3	4

#### Subsoil

Very short (%)	19	26	36	34
Short (%)	39	43	31	32
Adequate (%)	39	30	33	33
Surplus (%)	3	1	0	1

小麦生育状況：6月5日現在

次ページに続く

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter Wheat				
Boot (%)	64	30	64	49
Headed (%)	3	NA	NA	17
Spring Wheat				
Emerged (%)	98	88	92	89
Boot (%)	10	NA	NA	NA
Durum Wheat				
Planted (%)	96	92	81	NA
Emerged (%)	83	66	51	NA

冬小麦作柄状況：6月5日現在

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave.
Very Poor (%)	3	1	6	17
Poor (%)	10	7	15	22
Fair (%)	35	37	46	30
Good (%)	37	45	28	24
Excellent (%)	15	10	5	7

春小麦作柄状況：6月5日現在：

Conditions	This Week	Last Week	Last Year	5-year Ave
Very poor (%)	0	1	1	2
Poor (%)	1	3	5	10
Fair (%)	31	30	34	39
Good (%)	57	61	55	44
Excellent (%)	11	5	5	4

Source: Montana Agricultural Statistics Service

5月1日付けUSDA発表の冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area		Yield		Production		
	1,000 Acres		Bushels/acre		1,000 Bushels		
Crop	2004	2005	2004	2005	2003	2004	2005
MT	1,630	2,050	41.0	41.0	67,340	66,830	84,050
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	1,716,721	1,499,434	1,590,862

当該作柄と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>